

十一月一日（月）

～お遍路三日目～



今日のペア



たまに杖どきかに志村
先達さん



一緒にいよと
おちきまる



よしこさん



スマイル満点！
つよしさん



ガ・マイノース
そとほるさん



とってわ手が暖かい
きくえさん



紳士な
としあきさん

超キレ一棒



大師堂前にある鐘石は、たとくとその音は冥土まで届くと
言われている。



今日のペアは剛さん。
たくさん話をしました。弱視の剛さんにとって、聴こえる音はとても大切なもの。「声を聞くとどんな人かすぐにわかりますよ」と剛さん。剛さんの前では自分は隠せないと思いました…。



24

最御崎寺(東寺)
ほつみさきじ ひがしでら



さあ今から登りますよ

山内一豊が室戸沖で難破しかかった時、僧に化身した地蔵菩薩が巧みに舵をとり難を救ったという話がある。「舵取り地蔵」と呼ばれ海上安全大漁の守護仏として崇められている。

25

津照寺(津寺)
しんしょうじ つでら

本堂を目指して今から 108 段の急な登りに挑戦！！手を取り合
って、支え合いながらゆっくり登りました。全員 mission 完了！



外晴さん、馬路村の「ごっくん馬路村」柚子ドリンクが大変気に入った様子です。昼食後、ホテルなはりにて。

柚子の香りが何ともいえません。



このジュース後にいられた!!



あそこにこんなところがある、こっちにはこんなところもあると、剛さんに説明している内に、高知の良さを改めて実感しました。

26 金剛頂寺(西寺)

こんごうちょうじ にしでら

通称西寺と呼ばれ、標高160mの場所にあり、太平洋が一望できる。大師堂横には、「一粒万倍の釜」や「がん封じの椿」がある。



転んだしずさんと
その手をひこうとする
だんはさんの姿が
表現されていますよ。

27 神峯寺

こうのみねじ



いい話ですねー。

奇跡の話

昭和30年。難病で病床に苦しんでいた奥さん(しずさん)と一緒に回復を祈り夫婦で巡礼していた途中、しずさんが転倒してまった。大けがになったと思われたが自分で起きてみるというしずさん…。なんと奇跡的に全治していたという。このような実例がある。

菊絵さんは私を優しく受け止めてくださり、私が支えているんじゃなくて、逆に私が支えられているような気持ちになりました。心を開くことの大切さを学びました。





本堂

急な山道を登った山上にあり、四国八十八か所屈指の難所として知られる。境内には清澄な冷水が湧き出ており、“奇跡の水”といわれている。その水をみんなそれぞれペットボトルに入れて持ち帰りました。



山門裏

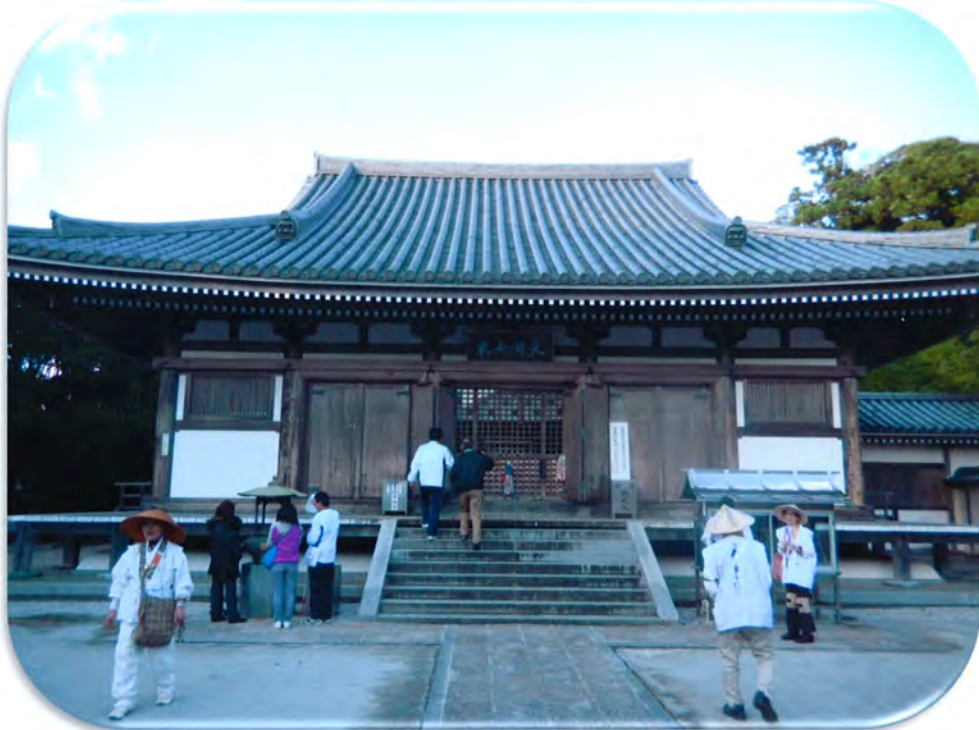


奇跡の水

28 大日寺

だいにちじ

大師が楠の立木に爪で彫られたという霊木は「爪彫り菩薩」と呼ばれている。



ここで、私は人の優しさにたくさん触れました。

「そんなことは誰でもある」「大丈夫」人生の先輩たちは、懐の深い温かい心でそっと励ましてくれました。私もそんな人になりたいと強く思いました。

高知新阪急ホテル泊